

就実通信

Campus Newspaper Shujitsu Tsushin

Contents

社会で活躍する卒業生インタビュー
わたしたちの研究
就実生協オープン！
第51回なでしこ祭・学生表彰
研究室レポート
Campus News



第51回 なでしこ祭 就実生協オープン



vol.31

2017年3月発行

社会で活躍する
卒業生
インタビュー

トマト銀行 原尾島支店

益田 麻緒 さん

人文科学部 実践英語学科
2007年3月卒業



支店長を目指し、お得意さま係として頑張っています。
あっという間に過ぎる大学時代を有意義に過ごしてください。

私は現在、『トマト銀行 原尾島支店』でお得意さま係1年生として日々新しいことに挑戦中です。当初は、一般職として入社し内勤業務を担当していましたが、この先ずっと仕事を続けるのならば「上を目指したい、男性に負けない指導力のある支店長になって支店を引っ張って行きたい」と思うようになり、総合職へコース転換しました。お客さまとより身近に接する係なので大変なことも多々ありますが、その分やり甲斐も大きいです。支店長や先輩方の指導の下、お得意さま係として誇りを持って頑張っています。

元々、人と接することや新しいことにチャレンジするのが好きで、大学時代は、ホームステイ先や各種手続きなどをすべて自分で手配し、アメリカへ短期留学をしました。空港に着くと、迎えに来てくれているはずのホストファミリーが現れず、かなり焦るというハプニングがありましたが、この時、なんとか対処できたことが強い自信につながっていると感じています。

学生時代は本当にあっという間だった気がします。留学経験もでき、勉強も頑張りました。それでも社会人となった今、もっと色んな経験をしてあげれば良かったと強く感じます。ボランティアでもサークル活動でもなんでもいい、自由になる時間がたくさんある学生時代にしか出来ないことが沢山あります。興味を惹かれること、面白いかもしれないことに会ったときは、迷わずチャレンジしてください。その経験がきっと自分の中の自信や勇気、失敗を恐れず挑戦する力になると思います。あっという間に過ぎていく時間を無駄にせず、貴重な“今”を楽しんでください。



就活メモ

就活を始めた時期

3年生の1月くらいから開始しました。具体的な活動内容は、企業訪問や合同説明会への参加をはじめ、就職課（現：キャリアセンター）に頻繁に足を運び、就職相談や企業情報の収集を行いました。

就活に役立ったこと

SPI問題集です。就職試験は何次にも分けて行われますが、まずは筆記試験が大切だと考え、問題集への取り組みに重点を置きました。就職課での、履歴書の書き方の指導や個別の面接練習もとても役立ちました。

社会で活躍する
卒業生
インタビュー

有限会社
足高メディカル・センター
薬剤師

久保 憲吾 さん

薬学部 薬学科
2014年3月卒業



一日の勤務スケジュール

8:00 出社
今日の仕事内容の確認
8:30 窓口業務開始
調剤、窓口での接客
または本社業務、事務作業など
13:00 休憩
交替で休憩。問い合わせ対応など
15:00 午後窓口開始
調剤、窓口での接客
または本社業務、事務作業など
19:00 退社



患者さんに信頼される薬剤師として、
今後は、エリア全体の店舗管理に関わっていきたい。

足高メディカル・センターで薬剤師として働いています。調剤や薬局窓口の接客が基本的な仕事ですが、ミスが許されないため調剤と窓口とで必ずダブルチェックをするようにしています。入社当時は接客に慣れていなかったこともあって緊張していましたが、最近では処方箋通りに薬を用意するだけでなく、サプリメントや食事のことなどの健康相談を患者さんから受けることも増えてきました。こんなときは信頼していただけたように思えて嬉しいです。

職場として薬局を選んだのは、5年生のときの実習がきっかけです。病院と薬局と両方で実習してみて、薬局の方が患者さんと薬剤師の距離が近く感じられて興味を持ちました。今は薬局経営の現場や社長の仕事を見る機会があり、ひとつの薬局だけでなくエリア全体、会社全体としての店舗管理についても学んでいます。これは当社に入社しなかったらできなかったことかもしれません。今後は、エリア全体の店舗管理を任せてもらえるようになりたいと思っています。

大学時代は、実験や生化学の分野に興味があり、坪井先生の研究室に入って、睡眠などに関わるグルタチオンなどの物質に関する研究をしました。9時から17時まで出席しなければならない厳しいゼミでしたが、おかげで社会人として働くときには楽だったかもしれません。勉強に関しても就職の際にも先生が親身になってくださったこと、学会発表が経験できたことなどが今でも心に残っています。

薬剤師を目指すなら、大学時代に実験、実習を通してコミュニケーション力を養うことを心がけておくとよいと思います。私は、もともと人とのコミュニケーションは苦手だったのですが、大学時代の経験、そして今の仕事を通じて変わっていったように思います。みなさんも夢に向かってぜひ頑張ってください。



就活メモ

就活を始めた時期

現場でどんな風に働いているのかを知りたくて、5年の1期に病院実習に、2期には薬局へ実習に行きました。

就活に役立ったこと

一番役立ったのは実習です。実際に働いている人たちの姿を間近で見たことで、自分が働くイメージを持つことができました。また研究室の先生からアドバイスいただいたことも役に立ちました。



小見 一志 先生
人文学部 総合歴史学科 教授

[profile]
福島県出身。
筑波大学大学院歴史・人類学研究科博士課程
単位取得。筑波大学人文学部社会科学研
究科助手。2006年就実大学人文学部助教授
(2007年准教授に改称)。
2012年同学部教授。
日本史講読3/4、日本史研究3/4、総合歴史
演習1、日本人の思想、総合歴史ゼミナールなど
を担当。

中世日本の寺社と民衆の関係性。 飾らない日常的な宗教の解明。

「中世日本の宗教社会史」を研究しています。古文書や民俗資料の研鑽のほか、年に数回フィールドワークを行い、各地にある寺社の縁起や言い伝えの収集と、考察を行っています。宗教史というとヨーロッパの宗教史と並んで考えられることが多く、思想的なものとして扱われがちですが、私が研究しているのは、いわゆる「普通」の宗教がどんなものであったか」に焦点を当てたものです。当時の宗教とは「病気を治す」「貧しい人へ施しをする」「建築技術を教える」といった、生活に役立つ親しみ易いものでした。中世民衆宗教の痕跡が、現代に様々な形で影響を与えていることへの認知を高めていきたいです。

歴史を学んでいくと、英雄とはごく一部の限られた人だと気付きます。学生の皆さんには、「普通」であることに自信を持ってほしいです。そして専門分野に縛られず、幅広い学問に触れて欲しいです。

プライベートは

自他ともに認める酒豪です。一番好きなのは「スコッチ」。その気になれば一晩で軽くひと瓶飲み干せます。そんな私なので、お酒にまつわる失敗談は数知れず。(笑)
若い時には、水溜まりに顔から突っ込む形で転んだまま起き上がり、濡れそうになったことも。数年前に、どういうわけか歩道橋から落ちまして、ちょっとした「流血事件」レベルのケガをしてしまいました。そんなこんなで、最近では、飲酒は週に2、3日に控えています。



加賀美 太記 先生
経営学部 経営学科 講師

[profile]
山梨県出身。
立命館大学経済学部卒業。京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。京都大学博士(経済学)。
2014年4月現職就任。
経営学入門、地域マーケティング論、中小企業論、協同組合論、ブランド戦略論、1～4年生ゼミなどを担当。

“いいもの” だから売れるとは限らない。 マーケティングの視点からモノ作りを考えています。

私の研究テーマは「国際マーケティングと企業間分業」です。世界中で認知され競争力を維持している企業が、どのようなプロセスをたどり、その地位を確立したのかを分析しています。特に注目したのがマーケティングの重要性です。かつてのように“いいものを作れば売れる”という時代は終わり、“面白い”や“カッコイイ”などプラスαの部分がある製品が求められる時代。消費者が“何を求めているか”をリサーチし、買いたいと思わせるモノ作りが必要不可欠です。分析結果から成功パターンを導き出し、企業へ発信し経済の活性化に役立てばと考えています。

学生の皆さんには、自分だけの「問い」を見つけ、その「問い」に真剣に取り組んで欲しいと思います。そして、多様性を受け入れられる、柔軟な発想力を持った人になって欲しいと思います。

プライベートは

ハンバーガーを100個買ったことがあるんです！
2000年に、マクドナルドの「ハンバーガー」が一個65円になったことがあって、友人たちと「腹いっぱいハンバーガーを食べよう！」という話になったんですよ。ドライブスルーが無いショッピングセンターの方が迷惑掛けないだろう、などと考えて店も厳選したんですけど、やっぱり迷惑だったみたいで(笑)。一時間かけて作ってもらい、いざ実食！8個で飽きちゃいました(笑)(←ちゃんと完食しましたよ)

岡山で2校目の大学生協設立

就実生協オープン！

2016年9月28日



学生生活を
サポートします！



生協学生部 seedS

学内の生活環境を改善・向上させ、教育・研究活動をより充実させることを目的として、2016年9月28日に「就実生協」がオープンしました。大学生協の設立は県内では岡山大学に続いて21年ぶり2校目となります。設立にあたっては署名活動や創立総会の運営等、必要となる手続きを、学生らが主体となって進めました。

組合員である学生及び教職員が自主的に運営に参加し、コミュニケーション活動やイベントの計画・実施、さらには大学で充実した生活が送れるよう学内の店舗の充実を目指しています。オープンからの半年間では、生協学生部seedS(シーズ)が、オープニングイベント実施に始まり、お菓子の試食会開催、1レシートナンバーくじ企画の実施、店舗のクリスマス飾りつけなどを行ってきました。これからも新入生交流会の実施など、たくさんの企画を実施していく計画です。

まずは食堂、カフェ、売店の運営から開始され、連日大勢の学生たちで賑わいを見せています。特に約650席のV館地下食堂は、たくさんの商品から好きなものをピックアップするカフェテリア方式を導入し、各自で食事の組合せを楽しめるようになっています。また朝食や夕食のサービスも行っており、健康面での充実したサポートを実施しています。

今後は書籍の取り扱いや下宿の斡旋等、サービスの拡大を計画しており、「ひとことカード」などの声や意見を活かして、品揃えやメニューの改善にも取り組んでいきます。学生や教職員の生活環境が安心で安全、健やかで、活力にあふれたものになるよう、模索しながら成長を続けていきます。



たくさんの
企画を実施予定です！



カフェテリア
方式の食堂は
大好評！





平成28年度
学生表彰

スポーツと文化活動において
優秀な成績を収めた団体、個人に表彰状及び
副賞を学長より授与しました。

スポーツ・文化優秀賞

短歌
表現文化学科3年 石川 颯生
・第16回若山牧水青春短歌大賞

エアロビック
実践英語学科4年 木代 葉子
(個人)
・SUZUKI WORLD CUP 2016
世界エアロビック選手権大会
シニア男女シングル部門
第2次日本代表選考会 優勝

・SUZUKI WORLD CUP 2016
世界エアロビック選手権大会
シニアの部 女子シングル部門 4位

(団体)
・SUZUKI WORLD CUP 2016
世界エアロビック選手権大会
シニアの部 トリオ部門 6位

書道部

表現文化学科3年 小坂 恵美
・第44回全国学生比叡山競書大会
伝教大師賞

茶道部

表現文化学科4年 段上 美香
・第38回学校茶道エッセイ
学生の部 優秀賞

社会活動

初等教育学科4年 奥原 綾
・岡山県防犯功労者 表彰

スポーツ・文化奨励賞

短歌
表現文化学科4年 真野咲美子
・第17回若山牧水青春短歌大賞
優秀賞

・第21回「前田純孝賞」学生短歌コンクール
前田純孝賞
表現文化学科4年 添田 諒一
神戸新聞社賞
表現文化学科4年 石山真太郎
新温泉町教育長賞
表現文化学科4年 谷政亜祐美
新温泉町長賞
表現文化学科2年 橋本侑加理

・第22回「前田純孝賞」学生短歌コンクール
準前田純孝賞
表現文化学科3年 越智 祥多

弓道部

教育心理学科3年 柿内 晶帆
・第43回 那須与一を偲ぶ西日本弓道大会
一般女子の部 優勝

新温泉町長賞 井上 菜月
表現文化学科3年
新温泉町長賞 吉武 美咲
表現文化学科3年
新温泉町教育長賞 松岡 正樹
表現文化学科4年
新温泉町教育長賞 中田 明里
表現文化学科3年
神戸新聞社賞 笠原 陽彩
表現文化学科2年
神戸新聞社賞 星島 英恵
表現文化学科3年

陸上競技部

教育心理学科1年 渡邊 理沙
・第70回 中国五県陸上競技対抗選手権大会
女子円盤投 第1位

フィギュアスケート同好会

教育心理学科2年 森 智彩登
・第32回中国四省学生フィギュアスケート選手権大会
J選手権クラス女子 第1位

グリークラブ (団体)

・第11回ヴォーカルアンサンブルコンテストin広島
優秀賞・エリザベト賞

越智 祥多	勝野 太亮
長瀬太一朗	花本 平和
馬場 瑞稀	松本 大輝
河田 裕充	河谷 真夏
廣田 一樹	垣内 智美
清末万里子	森藤 歩実
竹野 恵美	佐藤 清香
工藤香菜子	鈴木 恵理

平成28年度
就実の木奨学金

人文科学研究科	1年	恵谷 敏規
教育学研究科	1年	尾崎 杏奈
教育学研究科	1年	棧敷 瑞穂
教育学研究科	2年	津田 啓樹

この奨学金は、元学長 柴田一名教授の心温まるご配慮により、平成13年に設立されました。これは学生が目標に向かって努力し、壁を乗り越えることで、経済的にも精神的にも成長し幸せになってもらうために贈るものです。その後、多くの方からのご芳志に支えられ今年で樹齢15年を迎え、これまで約140名の学生が奨学金を受け、夢実現のために有効に活用されてきました。

「就実の木」は、幸せな人が集まって幸せな人を育て、幸せに育てられた人が集まって、また幸せな人を育てるという、なんとも不思議な木なのです。

学長 片岡 洋行

子どもたちに理科をもっと身近に感じてほしいから ワクワクする遊びの中から学ぶ“原体験”を実践。

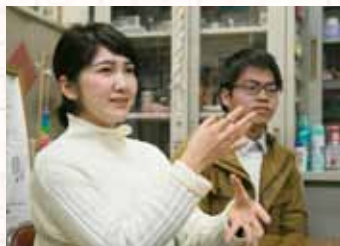
まるで遊んでいるかのように見える研究室には理由がある

ゼミ室にはワクワクするような楽しい装置や科学おもちゃがいっぱい。これらはすべて福井先生が「これ知ってる?」とみんなに見せるために持ってきたものなのか。ゼミ生たちが興味を持ちそうなものを毎回のように用意してみんなを楽しませてくれます。

福井ゼミでは、保育園や幼稚園・小学校の教諭を目指す学生たちが「理科好きな子どもを育てる方法」を学んでいます。理科に苦手意識を持つ子を減らし、子どもたちが「理科って楽しい!」と思えるように、子どもたちが遊びの中から五感を使って自然や科学を体験する“原体験”を積むことをテーマとしているので、学生たち自身にも多くの原体験を積み上げてもらえるような授業を行っています。例えば研究室を飛び出して、就実森の学校や畑で実習をしたり、福井先生主催の「子どものための科学教室」に学生たちがアシスタントとして参加したりすることもあります。「原体験は一見、遊んでいるだけに見えるかもしれませんが、長期的に見ると脳をバランスよく発達させているのです。人間は目と耳を使うことが多いため脳の視聴覚の部分ばかり使いがちですが、五感を使うことで脳の視聴覚以外の神経細胞が発達します。学生たちもできるだけ多くの原体験をして、引き出しを増やしてほしいですね。」

子どもを導く“プロの教育者”になってほしい

「幼稚園の先生は子どもと遊んでいるだけではありません。良い先生というのは、子どもの状態を見極めてその時その子に最適なものを提示しています。叱って子どもを動かそうとするのではなく、子どもが成長できるように自然と導いていけるのがプロの教育者です」という福井先生。ゼミ生たちも「迷ったり立ち止まったりしていると先生がヒントをくれて、さりげなく正しい方向へ誘導してくれます。」と言い、福井先生が自分たちを見守ってくれているのを実感していました。その安心感と信頼感が福井ゼミの楽しい雰囲気の原因になっているようです。



福井広和准教授：兵庫教育大学大学院修了。公立小学校に28年間勤務した後、現職。文部科学省検定教科書の編集委員。また、サイエンスレンジャーとして全国で科学教室を行う。

「子ども一人ひとりの最善の利益を保証する」 それが私たちの目指す理想の保育です。

“振り返り”で見いだす新たな発見

幼児教育学科の学生は、2年生の7月から10月にかけて、保育実習・幼稚園実習・施設実習を行います。「笹倉ゼミ」では、実習体験を論文形式にまとめ個々に発表を行っています。論文にまとめるためには、自身の体験を詳細に振り返る作業が必要です。その“振り返り”こそが、新たな発見を生み貴重な経験を今後活かすことに繋がります。

互いに意見交換をする中で、人それぞれに考え方や捉え方があり“正解”は一つではないと知る、多様な価値観を認め合う。その経験を重ねることが個々の思考の幅を広げ、ひいては子どもの年齢や状況・個性に応じた指導「子ども一人ひとりの最善の利益を保障する」理想の保育を実現できる力を養うと考えます。

“面倒見の良さ”は学内随一の笹倉ゼミ

「笹倉先生はどんな方ですか」と質問すると、「いつも指で机をタップしてる。しかもかなり早いビートで(笑)」 「けっこう頑固」と回答が。なんだかせっかちで厳しい先生かと思いきや、「面倒見の良さは学内で一番」「すごく優しい」「お菓子もくれる(笑)」と全員が口をそろえる。「レポートの書き方も一から指導してくれて、必ずどこか良い部分を見つけて誉めてくれるんです。実習前日で緊張してた時なんて、「心配しなくて大丈夫。最初から上手い人なんていないんだから、失敗を恐れず思い切りやってきなさい」って、励ましのメールをくれて本当に感動しました!驚くほどの長文でしたけど(笑)」

授業の最後、誰かが発した言葉に童謡の歌詞を連想した一人が、小さな声で口ずさむと、みんなつられてあっという間に合唱状態に。明るく、まとまりの良さが光った笹倉ゼミ生。それぞれの理想の保育士像を胸に目標に向かって頑張っています。



笹倉千佳弘教授：同志社大学文学部卒業後、公立高等学校に10年間勤務した後、関西大学大学院文学研究科に入学。同大学院修了後、夙川学院短期大学を経て、現職。



押谷善一郎元学長が「瑞宝中綬章」を受章



押谷善一郎元学長は京都府生まれ。平成11年、就実女子大学（当時）の大学院文学研究科開設のため教授として招聘されました。平成17年には学長に就任され、8年間の在任のうちに任期満了にて学長を退任され、ご退職されました。大学教員生活は実に半世紀に及び、アメリカ文学の研究により大阪市立大学から博士（文学）の学位を授与され、和歌山大学名誉教授、就実大学名誉教授の称号も得ておられます。

特に、本学学長としては、大学院「人文科学研究科」への改組、「教育学部」の増設、「就実こども園」の開園などを実現させ、ご退任後の「経営学部」増設の道筋も事実上確定されるなど、抜きん出た指導力を発揮されました。

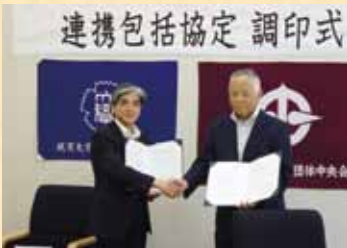
ご在任中は、学長室のみならず、キャンパス全体を仕事部屋とされていて、キャンパス内で教職員や学生にも分け隔てなく気軽に話しかけられ、大学・短大全体の好ましい雰囲気

の醸成にも貢献されました。押谷善一郎元学長が残された良き遺産は、現在も就実大学・就実短期大学に確実に受け継がれています。

岡山県中小企業団体中央会との協定締結

連携協定

岡山県中小企業団体中央会との間で、中小企業の経営支援に関する連携包括協定が平成28年7月28日に調印されました。中央会機関誌『中央会おかやま』9月号から経営学部教員による「就実大学経営学部課外講義」の連載が始まり、中央会は3月5日に就実大学で開催予定の学会に共催し、基調講演を行うことになっています。



矢掛町教育委員会との連携協定締結

連携協定

教育学部は、矢掛町教育委員会と「地域未来塾」事業等に関する基本協定を締結しました（平成28年8月4日）。当事業は、放課後の児童生徒への学習支援を行う、町独



自の教育政策ですが、その学習支援員として参加する学生には、子どもたちの学習環境や教育施策の実態を知り、教職を目指す自らの学習支援能力を高める貴重な体験の場となっています。

人文科学部、倉敷考古館と相互連携協定を締結

連携協定

平成28年10月15日、就実大学人文科学部は公益財団法人倉敷考古館と連携協定を締結し、市民への貢献、地域文化の振興、人材育成のために合意しました。本協定締結については、10月16日付山陽新聞に掲載されました。



和気町と就実大学・就実短期大学との包括的連携協力に関する協定調印式

連携協定

「和気町と就実大学・就実短期大学との包括連携に関する協定書」の調印式が平成29年2月23日（木）に和気町役場本庁舎会議室において行われました。

和気町では、平成28年4月より、公営塾の本格運用を開始したほか、平成29年4月に英語特区を導入し、教育環境の向上を推進しています。こうした中で、本学と地方創生に向けた地域社会の発展および人材の育成に資することを目的とし、包括連携協定を締結することになりました。今後は公営塾に本学の学生を派遣するなどの交流が予定され、さらなる協力関係の構築が期待されます。



ホームカミングイベント「卒業生キャリア報告会」

教育心理学科

本学科は、なでしこ祭期間中に「ハートカフェ」と平行開催するホームカミングイベントの一つとして「卒業生キャリア報告会」を行いました。登壇者は、教育心理学科2期目の卒業生で、特支教諭、養護教諭と一般就職、大学院進学してそれぞれでご活躍され



ている卒業生をお招きし、在学生と教員へ向けて現在のお仕事や学生生活、就職活動を振り返ってお話し頂きました。会ではそれぞれの職種や進路について学

生時代に努力してきたことや後悔していること、活かされていることなどの就活のポイントや、また社会人生活のエピソードを交えながら楽しく生きた熱いメッセージを聞くことができました。在学生は、夢を実現するために、教員は卒業生の成長と活躍を実感できる有意義なイベントとなりました。

第3回就実アカデミー

「第3回就実アカデミー：就実大学経営学部マーケティング実践講座」が平成28年11月19日～20日にかけて、受講者8名、教員6名、学生3名の参加のもとに開催されました。今回は、岡山県若手経営者・幹部等または関心をお持ちの方に受講対象者を絞り、「和洋菓子の消費量」をテーマに、講義およびグループワークをもとに、参加者が積極的に解決法を見出すことにより、マーケティングの方法を学習しました。我々を取り巻く社会には様々な問題があり、その解決方法は1つではなく、多様な解決方法があることを理解するとともに、論理的に思考し、解決方法を見つけ出すことが重要であることを習得していただきました。今後も就実アカデミーを続けていく所存ですので、ご参加いただきますようお願い申し上げます。



表現文化学会総会および学術講演会報告

表現文化学科

2016年度表現文化学会総会と学術講演会を11月26日に開催しました。事業・会計関係等の議事に続く学術講演会は、伊藤鉄也先生をお招きして「世界中の33言語で読める源氏物語」と題しての開催でした。伊藤先生は総合大学院大学、大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館教授で、源氏物語本文の研究を核にして世界文学としての源氏物語の普及活動に取り組んでいる先端研究者の一人です。

今回の講演は、諸言語への翻訳状況を具体的にお示しになり、源氏物語が海外諸国でいかに多大な興味・関心の対象となっているか、という内容でした。講演にはA4版29頁に及ぶ資料と先生の収集なさった諸言語に翻訳された刊行本の実物31点を展示すると同時に、手に取ることもまでも許可して下さる程の配慮でした。

一般来聴者を含め200名の参加者は、熱心に耳を傾けていました。源氏物語が日本の古典であるにとどまらず、世界の古典文学としての価値を有することの認識を得たのではないのでしょうか。



イルミネーション点灯

ここ数年学内は工事が続き殺風景な場所も多くありますが、少しでも安らぎと温もりを感じられるよう、この冬S館前の広場「ス

クエアcommons」にイルミネーションを点灯しました。派手さはなくさやかなスケールですが、行き交う学生たちの反応は上々。今後、キャンパスの冬の風物詩になるかもしれません。



新年お楽しみ会

就実こども園

新年お楽しみ会をライオン先生に参加していただき、3・4・5歳児は遊戯室で行いました。羽根つきや福笑い・コマ回しなどを見たり、歌を歌ったりして楽しみました。羽根つきでは、羽根が落ちるとバッテンをつけられます。熱戦に子どもたちは大声援でした。ライオン先生もバッテンをつけられて…（苦笑）0・1・2歳児は、うさぎ組に集まってしまいました。お正月の話を作ってパネルシアターを先生たちがしました。最後に獅子舞が出てきてびっくり…子どもたちは、獅子に頭をかぶってもらってどきどきのひとときでした。



第2回後援会役員会

平成29年2月18日（土）、第2回後援会役員会が、23名の役員、26名の学内関係者の出席のもと開催されました。

棗田後援会会長と片岡学長から日頃のご支援に対する謝辞と学内の校舎建て替え等により、学生の方々には、ご迷惑をおかけしているが、今後ますますの中身の充実を図り、より良い学生生活が送れるよう努めていく意向であると述べられ、今後も一層のご支援を賜りたいとのお願いがありました。

引き続き、各学部長から学部・学科の近況報告、キャリアセンター長から就職状況の説明があり、最後に事務部長から、今年度の事業計画に沿って施設設備の改修及び整備等の進捗状況の説明等、がありました。議事終了後、退任される役員の方々の送別を兼ねて懇親会が行われ、役員・教職員の交流を深めました。



■時 間 10:00~11:30
 ■会 場 本学B館106教室
 ※一部講座を除く
 ■受講料 無料
 ■定 員 100名※一部講座を除く

申込受付開始日

前期講座 5月1日(月)
 後期講座 9月1日(金)
 文化財講座 5月1日(月)

お問い合わせ・お申込先

郵送、FAX、E-mailにてお申し込みください。
就実大学・就実短期大学 総務課
 TEL.086-271-8466 FAX.086-271-8310
 〒703-8516 岡山市中区西川原1-6-1
 E-mail:soumu@shujitsu.ac.jp

主催/就実大学・就実短期大学 後援/岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・山陽新聞社・NHK岡山放送局・RSK山陽放送

前 期 「心と体の謎解き教室」 担当/教育心理学科

6月3日(土)		6月10日(土)	6月17日(土)
演 題	もし災害がおこったら… 心と身体はどうなるの？	実践で学ぶちょっと先の認知症予防	話を『理解する』
内 容	地震や台風などの災害に見舞われた時、私たちの心と身体はどのようになるのでしょうか。それを乗り越えるためには、何が役に立つのでしょうか。いつ起きるかわからない災害だからこそ、今知っておくことで、こころの「減災」に備えませんか。	運動が認知症予防に効果的ということは周知が広がっていますが、口を一字に一人で頑張るのでは長続きしません。まだまだ先の認知症と思わずに、楽しく一緒にストレッチ体操とゲームで身体を動かしながら将来の予防につなげましょう。 ※定員は30名で体育館多目的ルームで実施します。運動のできる服装でお越しいただき、室内用運動シューズ・飲み物・タオルをご持参ください。	日常会話では、普通に語られた話を理解するのに、それほど苦労は感じませんが、実際は、語られていない文脈が背景にあるおかげで、わかった気がしているのです。認知心理学での『理解する』について、お話をします。
担 当	教授 石原 みちる	教授 桑原 和美	教授 堤 幸一
6月24日(土)		7月1日(土)	7月8日(土)
演 題	微生物が感染すると、 どうして病気になるの？	カラダと脳に効く運動 ～歩く？走る？どっち？～	発達障害とはどんな障害？
内 容	細菌やウイルスなどの微生物が人に感染すると、お腹を壊したり、風邪を引いたりします。どうしてそのような症状がでるのでしょうか？その原因や予防について一緒に考えてみましょう。	運動は、カラダと脳の健康に重要な役割を果たします。ではどんな運動であればカラダや脳を元気にしてくれるのでしょうか？ヒントはカラダにあります。運動とカラダの不思議を謎解き健康について考えましょう。	発達障害という言葉や、良く耳にするようになりました。しかし、発達障害とはいったいどのような障害なのでしょう。発達障害を理解することは、私たちの心や脳の働きを理解することになるのです。皆さんと一緒に考えましょう。
担 当	准教授 森 宏樹	講師 森村 和浩	教授 岡田 信吾

後 期 「未病 ―健やかな生活を送るための知恵と工夫―」 担当/薬学科

9月30日(土)		10月14日(土)	10月28日(土)
演 題	健やかに過ごすための感染対策	エイジ (AGEs) を知って、 アンチエイジング	良い睡眠をとるには？
内 容	唱歌「故郷」の「恙なし」という歌詞は「病気がない」という意味です。ツツガムシに噛まれるとリケッチア感染症を起こし、亡くなることもあったからです。感染症を予防し、健やかに過ごすコツをお話します。	最近、健康情報誌などでも見かけるようになった「抗糖化」に関する内容で、抗糖化に結びつくライフスタイルや食品などを中心に、未病の観点から平易にお話しさせていただきます。	健康を維持するためには快眠が必要です。夜になると睡眠ホルモンであるメラトニンが脳で作られ、全身に送られます。この仕組みと快眠を導く食べ物についてお話します。
担 当	教授 塩田 澄子	教授 森 秀治	教授 坪井 誠二
11月11日(土)		11月18日(土)	11月25日(土)
演 題	生薬を食事に取り入れる	病気を防ぐクスリのはなし	高齢者における薬の体内動態
内 容	漢方薬は未病を治すことができるとされていますが、漢方薬を構成する生薬にはスパイスやハーブなど私達が日常的に食べているものも含まれます。その生薬を食事へ取り入れる方法と、どのような未病を改善するのかお話しします。	お薬は病気の治療のためだけではなく、病気の予防のためにも使われます。本テーマでは「ワクチンを打ったけど病気にかかった」、「ビタミン剤って本当に効くの？」など、よくある疑問にお答えしながら、予防薬の効果と正しい知識についてお話しします。	高齢者になると体の機能が変わってきます。それに伴い、若い人に比べて薬が効かなくなったり、効きすぎてしまったりすることがあります。体の機能の変化と薬の体の中での様子(体内動態)についてお話しします。
担 当	講師 佐々木 寛朗	講師 加地 弘明	教授 丹羽 俊朗

文化財講座

歴史と文化探訪の旅シリーズ

子午線と魚の街・明石の魅力を体験

東経135度・子午線が通る日本の標準時の街であり、瀬戸内を代表する漁港としても有名な明石市を探訪。子午線上にある天文台ではプラネタリウムでの天体観測、明石の台所・魚の棚商店街では市場感覚を楽しみ、アサヒ飲料ではソフトドリンクの製造過程を見学する。

開催日 平成29年5月28日(日)
 担当者 人文科学部 教授 吉本 勇
 見学先 アサヒ飲料 明石工場(試飲)、魚の棚、明石市立天文科学館
 ※見学先を変更することがあります。
 定 員 23名 ※15名未満の場合は、中止することがあります。
 受講料 3,000円(バス代、見学科含む)
 ※昼食は「魚の棚」で自由行動の予定のため受講料には含まれておりません。

